



さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

2025年3月期決算のお知らせ

株式会社 T&Dホールディングス
2025年5月15日



写真は、「Try&Discoverフォトコンテスト2024 ～写そうこの瞬間、紡ごうこのしあわせ～」の受賞作品(一部)です。

Copyright T&D Holdings, Inc. All Rights Reserved.

目次・グループストラクチャー

【決算のポイント】 P. 2

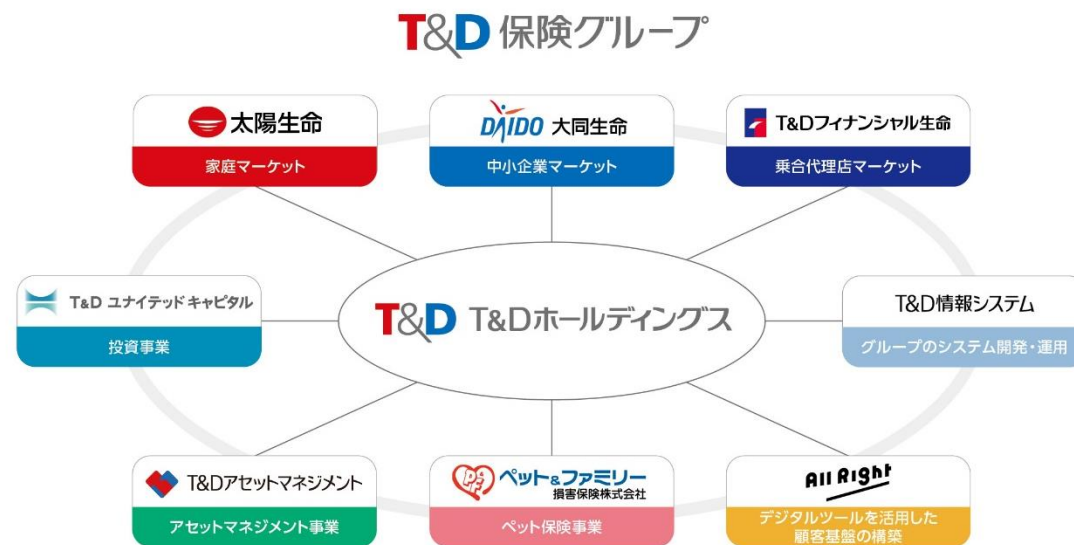
I. グループ概況 P. 3

II. 国内生命保険事業 P. 6

III. 事業ポートフォリオ多様化 P. 11

IV. 業績予想・株主還元 P. 13

V. 参考 P. 14



＜本資料における用語の定義＞

【連結】 T & Dホールディングス連結
 【太陽】 太陽生命保険
 【TDF】 T & Dフィナンシャル生命保険
 【TDAM】 T & Dアセットマネジメント

【3社合算】 生命保険会社3社（太陽生命・大同生命・T & Dフィナンシャル生命）の単純合算
 【大同】 大同生命保険
 【TDUC】 T & Dユナイテッドキャピタル
 【P & F】 ペット&ファミリー損害保険

【決算のポイント】

- グループ修正利益は、国内生命保険会社における利息配当金等収入の増加等により前期から増加し、過去最高を更新。
- 国内生命保険事業の契約業績は、新契約の販売好調により堅調に推移。
- 2025年3月期の1株当たり配当金は、前期より10円増配の80円、10期連続の増配予定。
自己株式取得は、過去最大の1,000億円（上限）を実施予定。

	項目	24/3期	25/3期	前期比	主な増減要因
グループ 連結	グループ修正利益	1,035億円	1,415 億円	+36.7%	国内生命保険会社における利息配当金等収入の増加等。
	親会社株主に帰属する当期純利益	987億円	1,264 億円	+28.0%	
国内生命 保険事業	新契約年換算保険料	1,983億円	2,132 億円	+7.5%	対面・非対面を融合させた営業活動およびお客さまの幅広い保障ニーズにお応えしたトータルな保障の提案、一時払商品の販売好調等。
	保有契約年換算保険料	16,336億円 (24/3末)	17,039 億円 (25/3末)	+4.3% (前年度末比)	
	保険料等収入	24,641億円	25,685 億円	+4.2%	
	基礎利益	1,258億円	1,620 億円	+28.8%	利息配当金等収入の増加および為替ヘッジコストの減少等。
	修正利益（3社合算）	1,012億円	1,283 億円	+26.8%	基礎利益の増加等。
クローズド ブック事業	修正利益（連結）	57億円	141 億円	+145.1%	海外再保険関連会社の運用収益の増加等。

株主還元

年間配当
【10期連続増配予定】(25/3期予定)
80.0円(1株当たり)(26/3期予想)
124.0円(1株当たり)

自己株式取得

1,000億円（上限）実施予定

1. 収益関係

- グループ修正利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、国内生命保険会社における利息配当金等収入の増加等により前期から大きく増加。

■ グループ修正利益

(億円)

	24/3期	25/3期	前期比
グループ修正利益	1,035	1,415	+36.7%

■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)

	24/3期	25/3期	前期比
連結	987	1,264	+28.0%

【参考】グループ修正利益とは

- 親会社株主に帰属する当期純利益に対し、市場変動等により会計上生じる経済実態を伴わない損益※や負債内部留保の超過繰入（戻入）額を調整した「グループ修正利益」を、経営実態を表す指標としてK P Iに設定し、また、株主還元もグループ修正利益に基づいて行っています。

※ 調整の対象は、フォーティテュード社における一時的な評価性損益や市場価格調整（M V A）に関連する評価性の損益等。

2. MCEV・新契約価値

- Group MCEVは、新契約価値の積上げおよび国内金利上昇等により前年度末から増加。
- 今期に販売した保険契約（転換契約を含む）から将来生じる利益を現在価値に換算した新契約価値は、大同生命での新契約高増加や国内金利上昇等により前期から増加。

■ MCEV※

(億円)

	24/3末	25/3末	前年度末比
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	38,844	39,457	+1.6%
生命保険事業のMCEV	39,832	40,386	+1.4%
うち太陽生命	11,718	11,332	△3.3%
うち大同生命	26,360	27,319	+3.6%
うちTDF生命	1,534	1,717	+11.9%
生命保険以外の事業に係る純資産	△ 988	△ 928	-

■ 新契約価値

(億円)

	24/3期	25/3期	前期比
3社合算	1,617	1,661	+2.7%
太陽生命	283	272	△ 3.8%
大同生命	1,236	1,300	+5.1%
TDF生命	97	88	△ 10.0%

※ 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV（エンベディッド・バリュー）」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したもの。

※ 「生命保険以外の事業に係る純資産」には、フォーティテュード社における会計上の一時的な評価性損益等を含む。

3. 健全性指標等

- グループ連結のソルベンシー・マージン比率は、国内金利上昇等により前年度末から低下。監督当局による早期是正措置の基準となる200%を上回っており、十分な健全性を維持。
- 当社グループの内部管理モデルに基づき算出したグループ連結のESRは、前年度末から上昇。

■ ソルベンシー・マージン比率（SMR）

	24/3末	25/3末	前年度末差
連結	995.7%	960.7%	△ 35.0pt
太陽生命	716.2%	678.6%	△ 37.6pt
大同生命	1,193.5%	1,168.0%	△ 25.5pt
TDF生命	567.6%	575.3%	+ 7.7pt

■ ESR※

	24/3末 (見直し後)	25/3末	前年度末差
連結	239%	243%	+ 4pt

※ ESRは、経済価値ベースの健全性指標として当社グループが導入している指標で、当社グループの内部管理モデルに基づき算出。

※ 2025年度末導入予定の経済価値ベース資本規制を踏まえ内部管理モデルの見直しを実施。（前年度末は見直し後の数値。見直し前は252%。）

4. 契約業績

- 対面・非対面を融合させた営業活動およびお客さまの幅広い保障ニーズにお応えしたトータルな保障の提案、一時払商品の販売好調等により、新契約年換算保険料は前期から増加、保有契約年換算保険料も前年度末から増加。

■ 新契約年換算保険料※1

(億円)

	24/3期	25/3期	前期比
3社合算	1,983	2,132	+7.5%
うち第三分野	419	433	+3.3%
太陽生命	324	472	+45.7%
うち第三分野	194	202	+4.1%
大同生命	735	764	+3.9%
うち第三分野	182	208	+14.8%
TDF生命	923	896	△ 2.9%
うち第三分野	43	22	△ 48.7%

■ 保有契約年換算保険料※1

(億円)

	24/3末	25/3末	前年度末比
3社合算	16,336	17,039	+4.3%
うち第三分野	2,968	3,088	+4.0%
太陽生命	5,641	5,669	+0.5%
うち第三分野	1,369	1,416	+3.5%
大同生命	8,064	8,127	+0.8%
うち第三分野	1,522	1,575	+3.5%
TDF生命	2,630	3,242	+23.3%
うち第三分野	76	96	+25.5%

【参考】各社の契約業績指標※1（各社の経営目標にあわせて設定している経営指標）

(億円)

	太陽生命			大同生命			TDF生命		
	保障性年換算保険料※2			契約高※3			年換算保険料		
新契約業績	24/3期	25/3期	前期比	24/3期	25/3期	前期比	24/3期	25/3期	前期比
	206	219	+6.3%	47,898	51,452	+7.4%	923	896	△ 2.9%
保有契約業績	24/3末	25/3末	前年度末比	24/3末	25/3末	前年度末比	24/3末	25/3末	前年度末比
	1,621	1,677	+3.5%	466,376	469,675	+0.7%	2,630	3,242	+23.3%

※1 契約業績指標は、個人保険・個人年金保険の合計。また、新契約業績には、転換による純増加を含む。

※2 太陽生命の経営指標で、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。

※3 大同生命の経営指標で、個人保険・個人年金保険の契約高にJタイプ、Tタイプ、介護リリーフα、一時金型Mタイプ等の第三分野の保障金額を加算した指標。

5. 保険料等収入・基礎利益

- 保険料等収入は、一時払商品の販売増加等により前期から増加。
- 基礎利益は、利息配当金等収入の増加および為替ヘッジコストの減少等により前期から大きく増加。

■ 保険料等収入

(億円)

	24/3期	25/3期	前期比
3社合算	24,641	25,685	+4.2%
太陽生命	7,028	8,055	+14.6%
大同生命	8,437	8,412	△0.3%
TDF生命	9,175	9,217	+0.5%

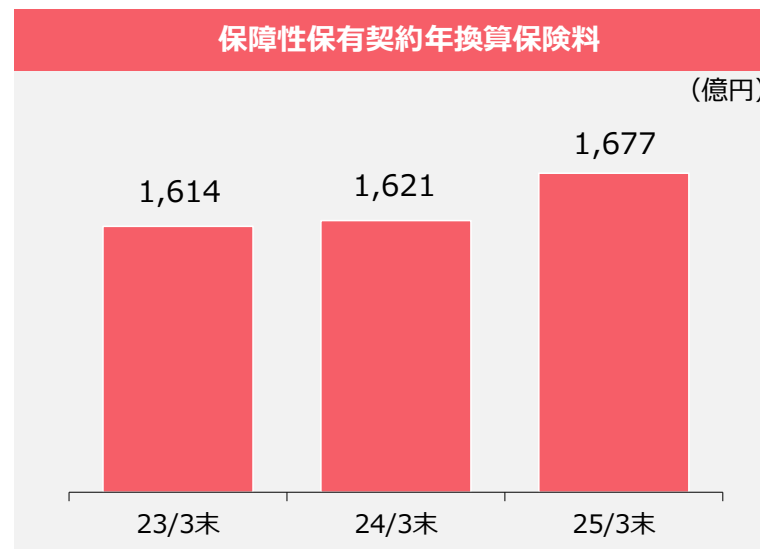
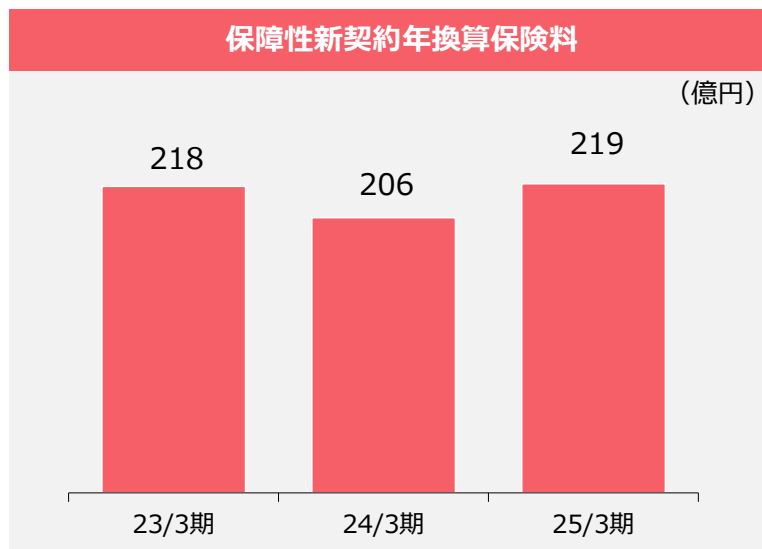
■ 基礎利益

(億円)

	24/3期	25/3期	前期比
3社合算	1,258	1,620	+28.8%
太陽生命	407	524	+28.6%
大同生命	865	1,085	+25.4%
TDF生命	△ 14	11	-

【参考】 太陽生命

- 保障性新契約年換算保険料※は前期から増加、保障性保有契約年換算保険料※も前年度末から増加。



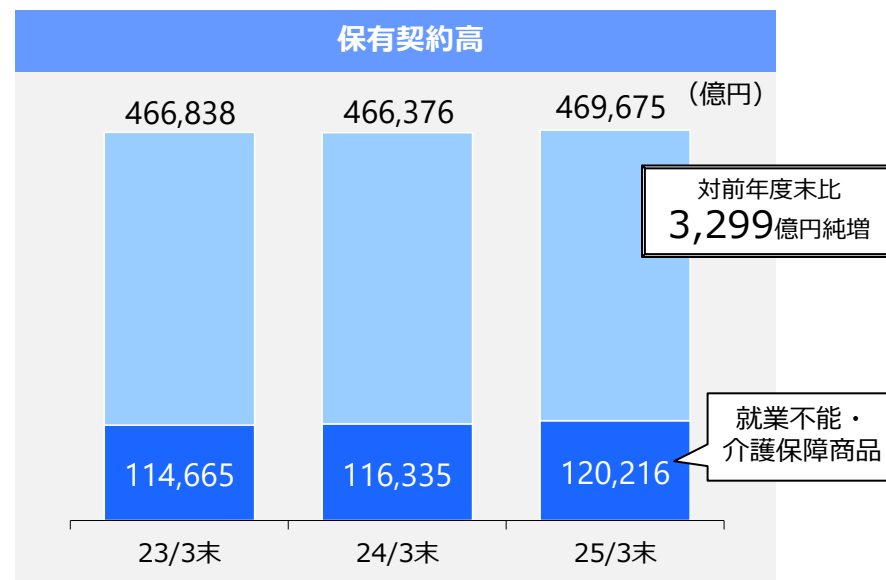
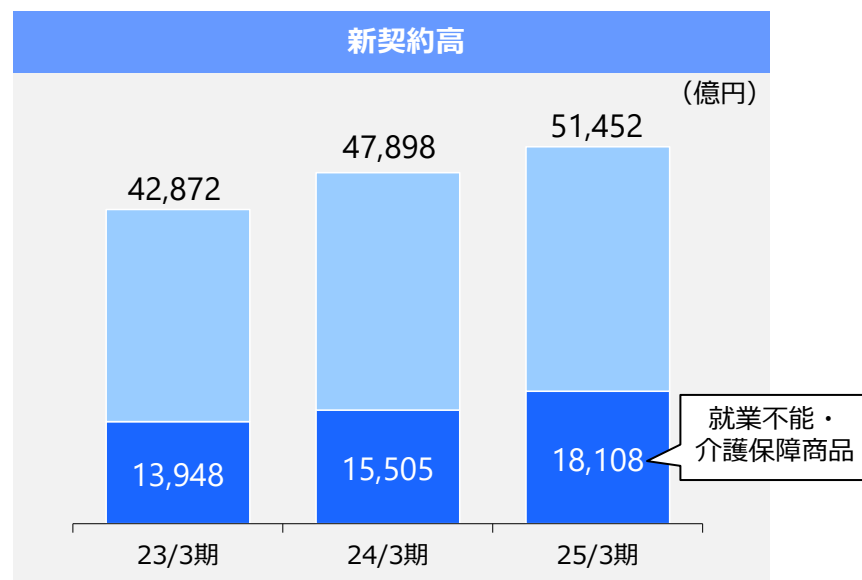
- 「保障性新契約年換算保険料」は、対面・非対面を融合したハイブリッド型営業の推進、代理店チャネルの販売量増加等により新契約業績が拡大し、前期から増加。
- 「保障性保有契約年換算保険料」は、新契約業績が堅調に推移したことに加え、保障性商品の解約・失効率が低下したことにより前年度末から増加。

- ・ より多くのお客さまのニーズに対応するため、2024年12月に新シリーズ「保険組曲BestMYWAY」を発売。
- ・ 新たな営業端末（T-AI-Face）の「オンライン面談」「リモート申込」等、非対面での手続き機能を活用しマーケットの拡大を図るとともに、デジタル技術を活用した提案活動によって生産性の向上を目指す。

※ 保障性年換算保険料とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。

【参考】 大同生命

➤ 新契約高は前期から増加、保有契約高も前年度末から純増。



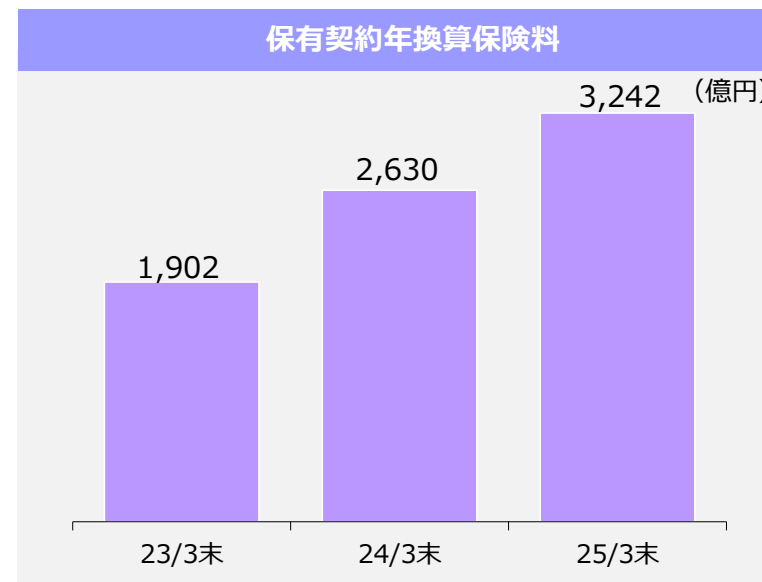
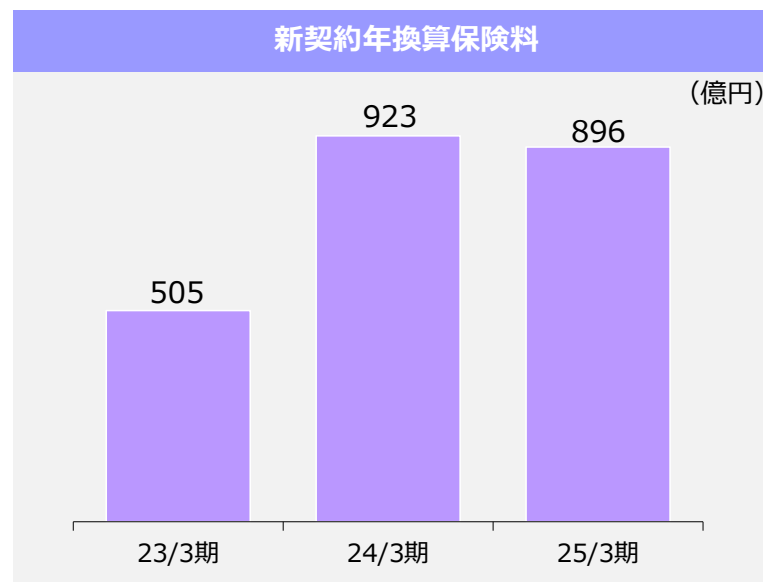
- 「新契約高」は、死亡保障に就業不能・介護保障等を加えたトータルな保障の提案により、お客さまの幅広い保障ニーズにお応えしたことで好調に推移。定期保険をはじめ主力商品（R・L・J・Tタイプ）はいずれも前期を上回る実績。
- 「保有契約高」は、「新契約高」が好調に推移したことや「解約失効高」が前年を下回ったことにより純増。

- ・ 2024年度は、2023年12月に発売した「優良体割引特約（健康エール割）」が好評。
- ・ 保険に加え、中小企業が抱える様々な課題解決を支援する「経営支援サービス」等、保険以外にもお客さまに貢献しお客さま数の拡大を通じた持続的な成長を目指す。

※ 当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフα」等の介護保険金額および「一時金型Mタイプ」の入院一時金額を基準として計上した金額を含む。

【参考】 T&Dフィナンシャル生命

- 新契約年換算保険料は前期並みの水準を確保、保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 「新契約年換算保険料」は、一時払終身保険（外貨）「生涯プレミアムワールド」は減少したものの、一時払個人年金保険「ファイブテン・ワールド4（円貨プラン）」の販売が好調に推移したことにより、前期並みの水準を確保し、「保有契約年換算保険料」は、前年度末から増加。

- ・ 2024年10月に「ファイブテン・ワールド4」を発売。一時払個人年金保険「ファイブテン・ワールド3（円貨プラン）」に、将来の年金原資額をより大きくふやすことができる「年金重視コース」を追加し、リニューアルした商品。
- ・ 同商品に加え、一時払終身保険（円貨・外貨）「生涯プレミアムシリーズ」、変額保険「ハイブリッドシリーズ」の3つの商品カテゴリを主軸とし、差別化した商品・サービスの機動的な開発を進めるとともに、パートナーとなる代理店を拡大することで、さらなる業績の拡大を目指す。

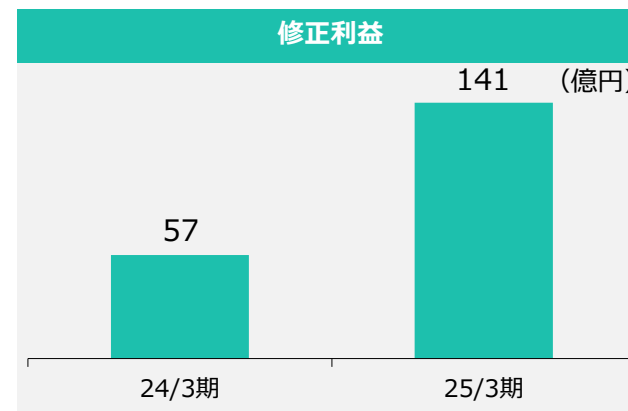
6. クローズドブック事業（TDUC連結）

- 修正利益は、フォーティテュード社※の運用収益の増加等により前期から増加。

※TDUCの投資先である海外再保険関連会社

	24/3期	25/3期	前期比
経常収益	4	18	+283.5%
経常費用	25	38	+53.4%
経常利益（△は損失）	△ 20	△ 19	-
当期純利益（△は純損失）	△ 24	△ 27	-
修正利益	57	141	+145.1%

（億円）



【参考】修正利益とは

- ・当社グループでは、親会社株主に帰属する当期純利益に対し、市場変動等により会計上生じる経済実態を伴わない損益や負債内部留保の超過繰入（戻入）額を調整した「修正利益」を、経営実態を表す指標としてK P I に設定している。

※ 調整の対象は、フォーティテュード社における一時的な評価性損益等。

7. その他の事業ポートフォリオ

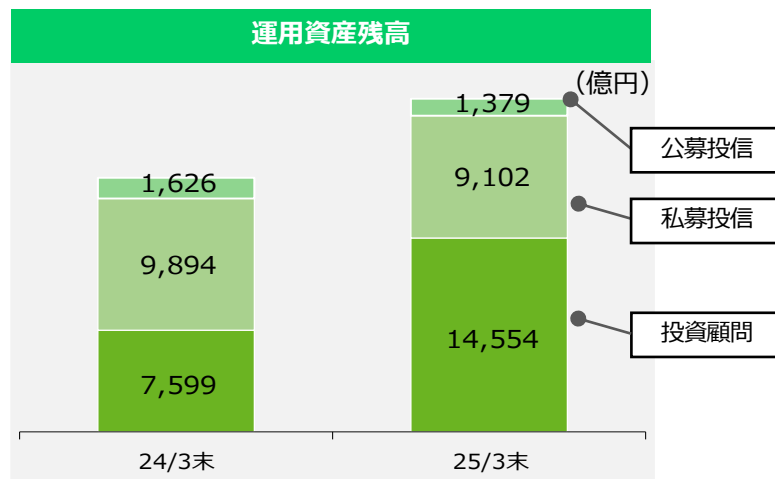
アセットマネジメント事業（TDAM）

- グループ内生命保険会社からの受託拡大による運用資産残高の増加等に伴い、営業収益、当期純利益ともに前期から大きく増加。

(百万円)

	24/3期	25/3期	前期比
営業収益（実質ベース）※	2,945	3,418	+16.0%
経常利益	47	236	+396.0%
当期純利益	31	193	+507.0%

※ 販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入

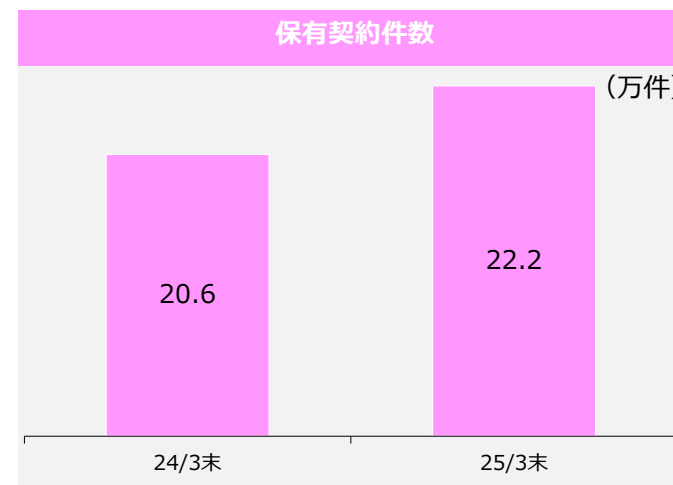


損害保険【ペット保険】事業（P&F）

- 新たなチャネル「PayPayほけん」での商品販売や継続契約が良好に推移したこと等により保有契約件数が増加し、経常収益は前期より増加。一方、支払保険金の増加等により経常利益・当期純利益は前期から減少。

(百万円)

	24/3期	25/3期	前期比
経常収益	10,444	11,260	+7.8%
経常利益	755	137	△ 81.8%
当期純利益	566	94	△ 83.3%



8. 業績予想・株主還元

■ 26年3月期 通期業績予想

(億円)

	25/3期実績	26/3期通期予想
経常収益(連結)	37,304	30,100
※【】は保険料等収入		
太陽生命	17,163 【8,055】	11,000 【8,700】
大同生命	11,484 【8,412】	11,300 【8,700】
TDF生命	9,590 【9,217】	7,300 【7,000】
経常利益(連結)	1,985	2,230
太陽生命	794	1,000
大同生命	1,135	1,200
TDF生命	77	110
当期純利益(連結)	1,264	1,180
太陽生命	518	500
大同生命	726	680
TDF生命	55	70
グループ修正利益	1,415	1,460

■ 株主還元

	24/3期実績	25/3期 予定・実績	26/3期予想
1株当たり年間配当金	70.0円	(予定) 80.0円※	124.0円
(うち中間配当)	35.0円	(実績) 40.0円	62.0円

※ 10期連続の増配の予定

	24/3期に帰属	25/3期に帰属
自己株式取得	約500億円	1,000億円(上限)

* 26年3月期の契約業績、収支見通しについては、米国による相互関税の影響等、不確定要素が存在しており、今後の動向により変動の可能性があります。

【参考】 損益関係①

■ グループ連結

(億円)

	24/3期	25/3期	前期比
経常収益	32,079	37,304	+16.3%
うち保険料等収入	24,745	25,798	+4.3%
うち資産運用収益	6,420	4,883	△ 23.9%
うちその他経常収益	913	6,623	+625.0%
経常費用	30,481	35,318	+15.9%
うち保険金等支払金	21,651	29,682	+37.1%
うち責任準備金等繰入額	2,467	0	-
うち資産運用費用	3,052	2,160	△ 29.2%
経常利益	1,598	1,985	+24.3%
特別損益	3	△ 39	-
契約者配当準備金繰入額	250	259	+3.5%
税金等調整前当期純利益	1,350	1,686	+24.9%
法人税等合計	350	412	+17.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	987	1,264	+28.0%
グループ修正利益	1,035	1,415	+36.7%

①

②

③

④

⑤

■ 含み損益（生保一般勘定）

(億円)

	3 社合算			太陽生命		
	24/3末	25/3末	前年度末比	24/3末	25/3末	前年度末比
有価証券の差損益	2,774	△ 4,686	-	2,783	△ 178	-
うち公社債	△ 4,146	△ 10,035	-	△ 840	△ 3,151	-
うち株式	4,329	3,618	△ 16.4%	2,655	2,048	△ 22.9%
うち外国証券	1,908	1,664	△ 12.8%	677	752	+11.1%
うち金銭の信託	△ 879	△ 1,151	-	-	-	-
土地等の差損益	1,648	1,838	+11.5%	710	790	+11.3%

	大同生命			TDF生命		
	24/3末	25/3末	前年度末比	24/3末	25/3末	前年度末比
有価証券の差損益	738	△ 3,277	-	△ 747	△ 1,230	-
うち公社債	△ 3,457	△ 6,824	-	151	△ 59	-
うち株式	1,674	1,570	△ 6.2%	-	-	-
うち外国証券	1,234	915	△ 25.8%	△ 3	△ 4	-
うち金銭の信託	-	-	-	△ 879	△ 1,151	-
土地等の差損益	938	1,047	+11.7%	-	-	-

※ 有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合出資金等は除く。

※ 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出。

<主な増減要因>

- ①④ 為替変動に伴う影響（為替差益の減少、外貨建保険の責任準備金減少）等
- ②③④ 太陽生命の出再に伴う責任準備金戻入（その他経常収益）、再保険料（保険金等支払金）等
- ⑤ 為替ヘッジコストの減少等

【参考】 損益関係②

■ 国内生命保険事業

(億円)

	太陽生命			大同生命			TDF生命		
	24/3期	25/3期	前期比	24/3期	25/3期	前期比	24/3期	25/3期	前期比
経常収益	9,892	17,163	+73.5%	11,837	11,484	△ 3.0%	10,282	9,590	△ 6.7%
うち保険料等収入	7,028	8,055	+14.6%	8,437	8,412	△ 0.3%	9,175	9,217	+0.5%
うち資産運用収益	2,330	2,091	△ 10.3%	3,063	2,744	△ 10.4%	1,062	63	△ 94.0%
うちその他経常収益	533	7,015	-	337	327	△ 3.0%	44	310	+595.8%
経常費用	9,339	16,368	+75.3%	10,821	10,349	△ 4.4%	10,209	9,512	△ 6.8%
うち保険金等支払金	6,923	14,352	+107.3%	5,883	6,110	+3.9%	8,785	9,152	+4.2%
うち責任準備金等繰入額	9	11	+22.1%	1,674	1,342	△ 19.8%	1,095	0	-
うち資産運用費用	1,245	747	△ 40.0%	1,791	1,335	△ 25.4%	20	82	+303.5%
経常利益	553	794	+43.7%	1,016	1,135	+11.7%	73	77	+6.5%
特別損益	59	△ 9	-	△ 49	△ 28	-	△ 6	△ 5	-
契約者配当準備金繰入額	136	143	+5.8%	114	115	+0.7%	0	0	△ 27.6%
税引前当期純利益	476	641	+34.6%	852	991	+16.3%	66	71	+7.7%
法人税等合計	86	122	+41.7%	243	265	+9.0%	18	16	△ 13.9%
当期純利益	389	518	+33.0%	609	726	+19.2%	48	55	+16.1%
基礎利益(△は損失)	407	524	+28.6%	865	1,085	+25.4%	△ 14	11	-
修正利益※	389	518	+33.0%	609	726	+19.2%	13	39	+183.8%
順ざや(△は逆ざや)	195	383	+96.4%	209	500	+139.1%	△ 10	△ 16	-

※ TDF生命の数値は、当期純利益から市場価格調整（MVA）に関連する評価性の損益を調整して算出。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

 T&Dホールディングス

 太陽生命

 大同生命

 T&Dフィナンシャル生命

 T&Dアセットマネジメント

 ペット&ファミリー
損害保険株式会社

 T&D ユナイテッド キャピタル

 All Right

T&D情報システム

【お問合せ先】

株式会社 T & D ホールディングス	広報課	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6206
T & D フィナンシャル生命保険株式会社	広報課	TEL 03-6745-6808